



第42回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 連弾の部



審査員講評

たなはしたえこ

棚橋妙子先生 (当番審査員)

連弾部門にご参加くださった皆様、ありがとうございます。お二人の気持ちと時間を合わせるのに苦心されたことと思います。ふきのとうホールにて審査員一同、とても楽しくそして刺激を受けながら、皆様の演奏を聴かせていただきました。

審査員を代表しまして、講評と今後のためのアドバイスを述べたいと思います。

参加された方々の演奏はしっかりと準備されていて、とてもレベルが高く感じました。選曲も吟味されていて、自分たちに合った曲を、生き生きと演奏されていたのが印象的でした。

- 音が綺麗で丁寧な演奏
- リズミカルで情熱的な演奏
- 2人のバランスが良い演奏
- 曲の背景を考えた演奏
- 自然体で魅力的な演奏

このように聞き応えのある演奏を、多く聴かせていただきました。

これからも連弾を勉強していただくための提言としては、

- 両手で弾いていても、耳は相方の両手も聴けるように。
- 音の多さをコントロールすること。
- 1台4手では、音質を揃えること。
- 聞きあえること、話しあえること。
- 演奏の中に、緊張と弛緩を作る。
- コントラストを考えた時、ほっとさせることも必要。

以上のご意見が審査員から出ておりました。

連弾の醍醐味は、4手で一台のピアノの低音から高音までの伴盤から、豊かな響きを紡ぎ出せることです。この演奏経験を次のステージで活かせるように、ぜひ頑張ってくださいと思います。そしてまだ連弾にチャレンジした事のない方にも、ぜひ挑戦して頂きたい思います。最後に、ご指導下さいました指導者と参加者のご家族の皆様に、感謝申し上げます。



大関ここみ・田中杏奈（B部門）
佐野妃茉俐・大沢瑠々花（C部門）



入江穂・入江紬（A部門）
兒玉瑞季・照井慧悟（B部門）
横窪悠梨柎・横窪悠雅（C部門）
富士本結月・富士本茜（C部門）



清水美空・清水夢（C部門）
安田未来・宮澤日捺子（C部門）
鈴木菜咲・池結衣渚（C部門）

連弾の部

並びは演奏順です

第42回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



森奏太・森拓音（B部門）

本巢友菜・本巢彩友（B部門）

佐藤千夏・佐藤花（C部門）